

山本 かずひと



「文京区の基金」について

基金には、年度間における財源の不足等を調整するための※**財政調整基金**、満期一括償還など将来の特別区債の償還に備えて積立てを行う**減債基金**、また施設建設など個々の目的を達成するために積立を行う**特定目的基金**の3つの種類があり、特定目的基金には更に13個の基金が設定されております。文京区の基金は、私が初当選をした平成11年辺りから底を尽きかけ始めましたが、予算の※**マイナスシーリング**を始め不断の行財政改革に取り組み、平成17年からは徐々に回復をし始めました。従いまして、私が1期・2期の時代には何せ予算が少なく、なかなか思うように皆様のご意見・ご要望を区政に反映することは厳しい時代でした。しかし現在では、納税義務者数の増加を始め財政の健全化が定着して来たことにより、高い水準で基金が保たれるようになりました。全部で13個ある特定目的基金の中で最も高い基金残高は、学校施設建設整備基金の277億円で、これは全体（634億円）の43%を占めます。次に高いのが、区有施設の改修や道路整備また公園の再整備などが含まれる、区民施設整備基金の129億円となります。学校の建替え等に関しては、1校当たりの工事費用が100億円弱と多額の費用を費やすことから、世代間の公平性や一時的な経費負担増を軽減するため、施設を建てる時には借入れを行い、現役世代と将来世代とで平等に負担してもらう方法でお金を工面しております。今後は、私の選挙公約にもあるように、必要などころには惜しみなく財源を充て、積極財政で区民の皆様へ税金を還元していく政策を押し進めて参りたいと考えておりますので、皆様からの更なるご意見ご要望をお待ち致しております。

※財政調整基金

23区独自の制度で、固定資産税と特別土地保有税と市町村民税法人分の3税が調整3税と言われ、この3つの税は、一端東京都に集められ（都）45%対（23区）55%の比率で分配され、その23区分が自治体の財政力に応じて更に分配される制度で、そのお金を積み立てる基金が財政調整基金となります。因みに、港区だけは分配されておられません。具体的には、都に集められた調整3税が約1兆円とすると4,500億円が都に配分され5,500億円が23区に配分されます。3税の殆どが固定資産税となっております。

※マイナスシーリング

予算のカット（毎年10%や15%と減額の幅を定めて、対前年の予算額から総額を減らす手法）

当初予算と基金残高の推移

